

英語のスピーキング力向上メソッドの実践的開発

学籍番号 169977

氏名 新納 賢志

主指導教員 田中 満公子

1. 背景と目的

グローバル化が進む今日、日本人の英語力は世界の国々と比較すると、低くなってきている。近年の英語教育は、文部科学省が2003年に発表した、「英語が使える日本人」が挙げられる。この施策を踏まえ、文部科学省は2011年に「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」を提言した。その後、文部科学省が2014年に策定した、「今後の英語教育の改善・充実方策について」の中で、生涯にわたり4技能を積極的に使える英語力の獲得をめざすとある。今後、生徒の多様な英語力を多面的に把握するために、幅広い話題について、発表・討論・交渉など言語活動を豊富に体験し、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするためのスピーキング力を高めていく指導が必要となる。そこで本研究では、効果的なスピーキング力向上のためのメソッドの開発を行う。

2. 本研究におけるスピーキング力向上メソッドの定義

そのため本研究において、生徒のスピーキング力について、将来生徒が英語を言語ツールの一つとするためにコミュニケーション能力の一つである方略的能力に焦点を当てた。方略的能力とは、私たちが言いたいことを伝えるために、知っていること、経験したコンテキストを最大限に利用する能力である。この能力が身につくことで、スピーキング活動は活発になり、生徒のスピーキング力の向上につながる。

3. スピーキング力向上に向けて

本研究におけるスピーキング力を向上させるメソッドのために必要な要素として、信頼関係の構築が挙げられる。そして、信頼関係を構築するための4ステップ(日本語でのペアワーク、英語でのペアワーク、日本語でのグループワーク、英語でのグループワーク)を実習校が行っていた。そのため、4ステップを支える4要素を抽出し、この4要素が生徒のスピーキング力向上につながると考えた。

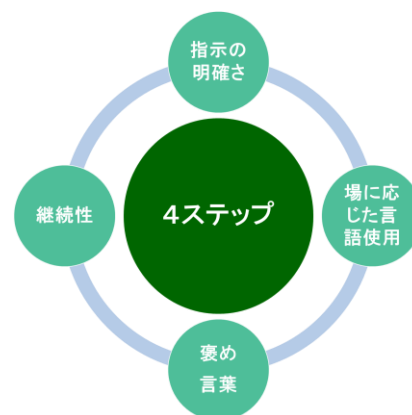


図1 信頼関係を構築する4ステップを支える4要素

4. 実践内容と結果

図1の4要素を意識し授業を行った後に、与えられたトピックについて1分間のスピーチ形式のテストを行った。スピーチトピックは、生徒の背景的知識を必要としないもので、かつ、ある程度の選択肢があり、答えの自由度がある“What subject do you like? Give reasons and examples.”とした。このテストは①1年時に10月と2月の2回、②2年時に7月と10月の2回実施した。その結果として、1分間の総語数や単語数、また録音時間の増加につながった。特に録音時間は、①のテストにおける10月のテストでは60秒が経過する前に途中で諦める生徒が多かった。しかし、10月時点では40秒以上話し続ける生徒は半数に満たなかったが、2月のテストでは7割を超える生徒が40秒以上話し続けた。②のテストでは7月時点で録音時間が40秒を上回っている生徒が増加した。これは、継続的なスピーキング活動の成果である。与えられた時間内は話し続けるという意識が身につくことで、コミュニケーション能力の一つである、方略的能力の獲得につながった。

また図1の教員の観点に加え、生徒のスピーキング活動に対する意識も、スピーキング力向上には必要であった。そのため、3つのスピーキング活動（リーディングと関連させた活動、事前準備が必要な活動、行事を振り返る活動）を実践した上で、アンケート調査を行い分析・検証した。その中から、生徒のスピーキング力向上に必要な要素を抽出した。

5. 本研究の成果と課題

以上の結果から、生徒がスピーキング力の方略的能力を獲得するために、活動を行う生徒同士の信頼関係を構築する必要がある。そして、スピーキング活動の質を向上させ、スピーキング力の向上につなげるためには、信頼関係を構築する4ステップを支える4要素（継続性、褒め言葉、明確な指示、場に応じた言語使用）を授業に取り入れ、さらに生徒がスピーキング活動に対してやりがいや楽しさを感じる必要があった。したがって、スピーキング活動の質を向上させ、生徒のスピーキング力向上を図るために、教員の意識すべき4要素と生徒が感じるべき3要素を抽出した。

最終的に、抽出した要素を用いてスピーキング活動に関するメソッドを実践的に開発した（図2）。

また、このメソッドに関して、信頼関係を構築する4ステップと関連させたモデルプランを作成した。その中で、4ステップのそれぞれの段階で特に必要となる要素について考察を加えた。しかしこの一年間のモデルプランは、本研究では検証できていないため、今後の課題としたい。

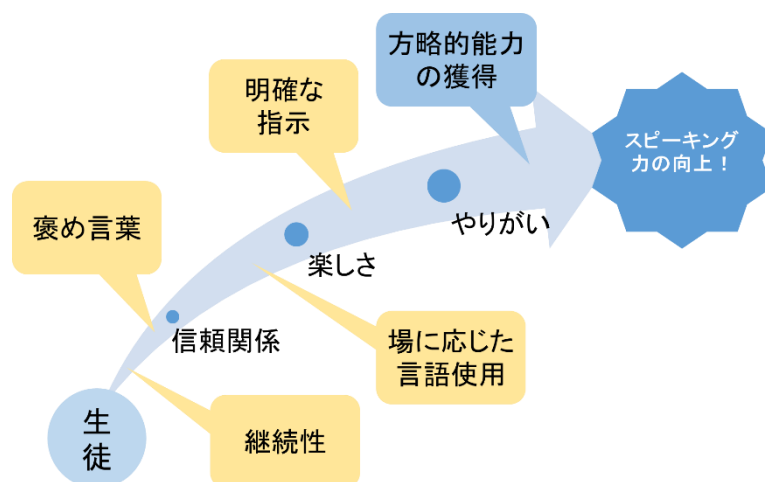


図2 スピーキング力向上メソッド